

国語科学習指導案

授業日 令和5年11月29日

学習者 1年3組 29名

授業者 山野 友香

1. 単元名「じどう車ずかんをつくろう」

2. 単元の目標

◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思B(1)イ)

○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知(2)ア)

3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事柄の順序など情報と情報の関係について理解している。	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、自分でも自動車図かんを作ろうとしている。

「3組じどう車ずかん」をつくろう。

4. 単元計画と学習評価 (全6時間)

時	学習内容	学習評価 (知・思・主) 〈方法〉
1	<ul style="list-style-type: none"> 自分の調べたい自動車を決めて「じどう車ずかん」を作ることを知る。 「図鑑」に書く自動車を決める。 作り方を確かめ、学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「じどう車ずかん」の作り方を話し合うことを通して、学習の見通しをもとうとしている。(主) 〈観察・発言〉
2	<ul style="list-style-type: none"> 図鑑やタブレットを使って紹介したい自動車の「しごと」について調べ、分かったことを書く。 調べたことをもとに、紹介したい自動車の「しごと」を文にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の「しごと」「つくり」の関連を考えている。(知) 〈記述・発言〉
3	<ul style="list-style-type: none"> 図鑑やタブレットを使って紹介したい自動車の「つくり」を選ぶ。 前時までまとめた「しごと」の文を読み直し、それに合わせた「つくり」を選んで文を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介したい自動車の「つくり」について情報を集め、「しごと」に合わせた「つくり」を選び、伝えたいことを明確にしている。(思) 〈記述〉
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 順番などに間違いがないか、「しごと」にあった「つくり」になっているか、接続詞はぬけてないか、句読点や助詞などの使い方は正しいか、もっとこうしたらいいなど、友達と確認しあいながら、わかりやすい文章になるように書き直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことをもとに、「しごと」「つくり」の順や、「そのために」の接続詞をいれてじどう車しょうがいカード」を書いている。(思) 〈記述〉 友達と交流し、間違いに気づいたり、わかりやすい文章になるように書き直したりしている。(思) (主) 〈発言・記述・観察〉
5	<ul style="list-style-type: none"> 文章を清書する。 図鑑やタブレットの画像を見ながら絵などを描いて完成させる。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 「じどう車しょうがいカード」を全体で発表し、感想を伝え合う。 学習を振り返り、自分の文章のよいところを見つけて書く。 みんなのカードを綴って「3組じどう車ずかん」として掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想を伝え合うことを通して、自分の文章のよいところを見つけている。(思) 〈発言・観察〉 友達の発表をしっかりと聞き、友達のよいところを見つけている。(思) 〈発言・記述〉

②課題設定の工夫

①ゴール

⑦共有

⑦共有

5. 本時でめざす子どもの姿

○調べたことをもとに、「しごと」にあった「つくり」を選び、「しごと」「つくり」の順番や接続詞「そのために」を入れて「自動車しょうかいカード」を書くことができる。

○友達と交流することで、自分の書いたカードの間違いなどに気付き、もっととこうしたらいいと思うところはないかなど確認しあいながら、わかりやすい文章になるように書き直すことができる。

(思)(主)〈発言・記述・観察〉

6. 仮説との関連

①課題設定の工夫（仮説1）

・児童の「やってみたい」を引き出すために、自分で決めた自動車を「しごと」「つくり」に着目しながら、「自動車紹介カード」を作成し、最終的には図鑑にして綴るという最終目的を伝え、学習の見通しをもたせた。

・前単元の学習時から、「自分でも自動車について調べてみたい。」と思えるように、導入から知っている自動車や好きな自動車を挙げさせたり、動画ではたらく車について紹介したりしたことを、本単元導入時にそれを提示することで、個々の「やってみたい」を共有し、学習意欲を喚起させた。

②学びの場の保障（仮説2）

・自分の調べたい自動車について自己選択・決定する場面を設定することで、児童が主体的に活動できるようにした。さらに、「自動車紹介カード」を全体で発表する前に、ペアやグループで交流する場を設定することで、自信をもたせ「もっとよいカードにしよう。」という意識をもって、活動に取り組めるだろうと考えた。

7. 本時の学習展開（4／6）

	児童の学習活動	評価□・留意点※
導入 10分	<p>○本時の学習内容を知る。</p> <p>③ともだちと、かくにんしあって、もっといい文しようしよう。</p> <p>①ゴール</p> <p>・友達と交流し、もっとわかりやすい文章になるように訂正し、清書する。</p> <p>○前時で完成させた「自動車紹介カード」で、自分の書いた文章の読み直しをする。</p>	<p>※前時で個人で作成した「自動車紹介カード」を取り上げ、最終的にはそれが「3組じどう車ずかん」になることを伝え、「もっといい文章にしたい。」と思えるように学習意欲を喚起する。</p>
展開 30分	<p>○友達と交流する。</p> <p>⑥安心できる手立て</p> <p>・隣同士→3人～4人で交流の人数を増やしていく。</p> <p>⑤アイテム</p> <p>・どのような視点で交流すべきかを提示する。</p> <p>④自己決定</p> <p>・「しごと」「つくり」の順番に間違いがないか、「しごと」にあった「つくり」になっているか、「そのために」はぬけてないか、句読点や助詞は正しいか、などの視点で交流する。</p> <p>・「つくり」が先に書かれているよ。・「、」「。」がないよ。</p> <p>・「を」の使い方がちがうね。・こんな「つくり」もあるよ。</p> <p>○交流した後、訂正すべき箇所は直す。</p>	<p>※交流するときの視点を板書し、視覚化する。</p> <p>□調べたことをもとに、「しごと」「つくり」の順や、「そのために」の接続詞をいれてじどう車しょうかいカードを書いている。（思）〈記述〉</p> <p>□友達と交流し、間違いに気づいたり、わかりやすい文章になるように書き直したりしている。</p> <p>（思）（主）〈発言・記述・観察〉</p> <p>※子ども同士でスムーズに交流ができるように、配慮していく。</p>
終末 5分	<p>○本時のふりかえりをする。</p> <p>⑦共有</p> <p>・友達と交流してよかったことを発表する。</p> <p>○次時への見通しをもたせ、学習意欲を高める。</p>	<p>※振り返りの視点を提示する。</p> <p>※次時に取り組むことを確認する。</p>

③時間の保障

